

令和4年度
学校関係者評価報告書

学校法人 佐藤栄学園
専門学校 埼玉自動車大学校

1. 目的

学校関係者評価は以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。
- ③学校は評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的に改善を図る。

2. 学校関係者評価委員

井上 一郎	保護者	埼玉自動車大学校親交会	会長（委員長）
桑原 恵美子	保護者	埼玉自動車大学校親交会	副会長
黒土 明穂	保護者	埼玉自動車大学校親交会	副会長
細井 和弘	第27期卒業生	株式会社K-STAGE	代表取締役
原島 政幸		有限会社CarBodyShop Vicky	代表取締役

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

- ・日時：令和5年5月26日（第1回委員会）
令和5年6月9日（第2回委員会・書面会議にて実施）

4. 学校関係者評価委員会報告（評価する点、改善点、要望等）

（1）教育理念・目的・育成人材像

- ・「人間是宝」による人間教育、校訓「徳技知」による職業教育により、教育理念が学生にも浸透している。保護者の立場からも本校の教育内容に満足している。
- ・急激に変化する社会構造や自動車業界の技術革新を視野に入れ、積極的に教育のICT化を進めるなど、社会のニーズを踏まえたビジョンを描いていることが分かる。

(2) 学校運営

- アフターコロナで従前の教育計画に戻りつつある。学生の楽しみにしている行事が復活することはよいことだ。
- オートジャンボリー等の学校行事により、更に学校の知名度が上がることを期待したい。

(3) 教育活動

- 他校と比較しても施設設備が充実しており恵まれた教育環境だと思う。また、学生の多様なニーズに応えられるカリキュラムが用意されているのもよい。昨年度よりも在籍数が増加したことは素晴らしい。
- オープンキャンパスや授業参観に来ると、あいさつや身だしなみなど学生の雰囲気がとても良い。目的意識をしっかりとった学生が多く、普段の指導が行き届いている。

(4) 学習成果

- 二級整備士、車体整備士の合格率 100%が実現できたことはよかった。
- 退学者が若干いるものの低い退学率で推移している。建学の精神のとおり人を大事にする教育実践の表れである。
- 9倍を超える有効求人倍率があり、就職率 100%を維持しているのはありがたい。企業に就職しても本校の卒業生は離職率が低く、社会人としての心構えができている点が評価できる。

(5) 学生支援

- 就職や学習・生活に関する学生相談や課外活動の指導、奨学金など経済的な支援体制も教員が丁寧に対応している。
- 遅刻や欠席を減らすように担任が親身になって学生指導に当たっており、保護者ともよく連携してくれるので安心できる。

(6) 教育環境

- 今年度は、ユタバレー大学との交流事業でユタ留学が4年ぶりに再開した。国際理解教育や世界の自動車技術に目を向けてグローバルに活躍する人材を育成できるとよい。

(7) 学生の受入れ募集

- 学校案内パンフレットは毎年よくできている。是非、高校や企業などいろいろな場所でパンフレットを目にできるように工夫してほしい。
- インターネットや看板、広告を強化して高校生にもっと学校に足を運んでもらえるように考えてほしい。

(8) 財務

- 少子化が進む中で学生募集はますます厳しくなることが予想されるので、財務基盤の見直しを図るとともに、物価高からモノの値段が高騰しているので経費削減を図る努力を進めてもらえるとよい。

(9) 法令等の遵守

- 整備士に最も求められる「誠実」をモットーに教職員は法令を遵守し、適切な学校経営がなされている。
- 学校自己評価や公開授業等で情報公開に努め、引き続き開かれた学校づくりを進めてほしい。

〈令和4年度の実施状況〉意見・改善点

- コロナの影響か、世代間の違いからか、同僚同士の間関係が希薄になっている気がする。チームワークの大切さを学生時代に学んでもらえるとよい。

以上